

日吉町まちづくり推進協議会（瑞浪市）

郊外部

歴史、街道、安全安心

取組の背景

日吉町は、五街道である中山道が東西に通り、江戸時代には宿場町「細久手宿」として地域の経済・文化の中心となって栄えた地域である。

しかし、地域社会を取り巻く環境は著しく変化し、地域住民の共同体意識が希薄してきた中で、日吉町では「私たちのまちは、私たちで守り育てる」ことの大切さを引き継ぐまちづくりの活動を進めている。

取組の概要

日吉町区長会と協力し、日吉町民相互の交流と協働によって住民主体の諸活動を展開することにより、住みよいまちづくりの実現を図ることを目的とし、日吉町区長会を中心に組織されている。

事業内容としては、

- ・住みよい地域社会づくりを進めるため、地域施設整備計画の策定と事業の推進
- ・幼児から高齢者まで居住する住民と、心と心のふれあいの高揚を図るため、コミュニティ活動の展開等を行う。

取組の内容

日吉町 14 地区の区長会の任期は 1 年であり、継続した活動が行いにくいいため、平成 12 年 7 月に「日吉町まちづくり推進協議会」を設立した。

平成 14 年度には、中山道の開宿 400 年を記念し、細久手宿を中心に、歴史の中で培われてきた伝統・文化を活かした「中山道 400 年の恋」をメインテーマにしたイベントを開催し、市内外に情報発信を行った。

その後、協議会では、3 つの事業委員会（焼き物制作、姫街道事業、星見台整備事業）をつくり、これまでに天神窯による作陶や輿収納庫の建設、美濃源氏七夕まつりへの参加、天狗塚展望台の整備などを中心に活動を行ってきた。

平成 18 年度は、「安全・安心なまちづくり」

の推進、平成 21 年度の公民館活動指定管理者制度受託への準備を、主なテーマとして取り組んでいる。また、継続的な活動として、広報『日吉町まちづくり便り』の発行を行っている。

今後は、生活密着型の教育部会、地域振興部会、防災部会を立ち上げていく。

成果

- ・焼き物制作委員会：天神窯、ピザ窯の建設
- ・星見台整備事業委員会：遊歩道、天神塚展望台の整備
- ・姫街道事業委員会：輿収納庫整備

成果の要因

- ・まちづくり推進協議会が何かを行うのではなく、まとめながら進めている。
- ・主体となるのではなく、手段としての協議会がある。

今後の課題

- ・運営資金の工面。
- ・継続的に活動してもらえる気力と体力を持った人材の確保。
- ・活動拠点となる場所がないため、平成 21 年度には公民館の指定管理者制度を受託することによる、協議会事務所の開設。
- ・まちづくり協議会として、どういう活動をしていくかまとまっていない。

行政への期待

まちづくりは何事も自分たちで考えてやらないといけないと考えており、あまり行政に期待することはよくないと思っている。

この人にお話をうかがいました！

日吉町まちづくり推進協議会
会長 後藤雅行さん

調査日：平成 18 年 10 月 30 日（月）

調査者：都市政策課 酒井、東濃振興局 楓